



県ホームページ(置賜総合支庁: http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo)でもご覧頂けます。

平成28年10月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No. 148

フラワー長井線ラッピング列車 白鷹町の「紅花」、川西町の「ダリア」に続き、第3弾として南陽市の「さくら」をモチーフにした列車が9月15日フラワー長井線にデビューしました。11月上旬には長井市の「あやめ」号も運行が開始されます。(総務課連携支援室)

特集 きて・みて・のって 楽しい フラワー長井線

フラワー長井線は南陽市の赤湯から、川西町、長井市を通り、白鷹町の荒砥までの片道約30kmを1時間ほどかけて結ぶ路線です。沿線に花の名所が多く、ラッピング列車にも描かれた四季折々の花を楽しむことができます。開通以来、通勤や通学等で利用されている重要な公共交通機関であり、地域振興や観光振興にも欠かせない財産です。

置賜総合支庁では、フラワー長井線の利用拡大を図るために、列車を活用して地域の特産品や農産物のPR・販売を行う「**フラワー長井線応援企画列車**」を実施しています。

皆さんも、来て・見て・乗って楽しいフラワー長井線で置賜の魅力にふれてみませんか。これからも地域一体となってフラワー長井線を応援しましょう！



フラワー長井線応援企画列車 第1弾 『おきたまワイン&ぶどう号』を運行しました！

フラワー長井線の利用拡大を図るとともに、南陽産ワインや置賜産のぶどうの魅力をPRするため、9月30日に長井線応援企画列車を運行しました。



当日は、大浦赤湯ワイン組合長から南陽産ワインの特徴や美味しいワインの飲み方、ワイン用葡萄の説明を行っていただくともに、県農林水産部の職員が置賜地域におけるぶどうの栽培状況やシャインマスカットの解説を行いました。

列車内では、南陽市内4ワイナリーのワインの試飲やシャインマスカットの試食などを行い、赤湯駅から荒砥駅の往復2時間の列車の旅は、参加者も大満足の楽しいひとときとなりました。



フラワー長井線応援企画列車 第2弾 つや姫マイスターと行く 稔りのおきたま「つや姫」満喫ツアー開催予定

フラワー長井線利用拡大と「つや姫」の新米の販売・PRを目的に、駅舎及び列車を利用して関係者がアピールなどを行い、更なる販売拡大を図るために開催します。



開催日: 10月14日(金) 14:00~

- JR赤湯駅でのイベント
 - つや姫レディによる新米「つや姫」PR
- つや姫満喫ツアー
 - つや姫リレートーク、新米「つや姫」等の試食等

※つや姫満喫ツアーについては、関係者のみの参加となります。一般公募は行いません。
※JR赤湯駅で行うイベントはどなたでもご参加いただけます。

☎ 農業技術普及課 0238-57-3411

フラワー長井線まつり開催！

● 日時 10月23日(日) 10:00~14:30

利用者や沿線の皆様に感謝を込めて、宮内駅、長井駅及び荒砥駅を主会場に各種イベントが開催されます。当日は1回100円でご乗車になれますので、ぜひ、この機会に長井線を利用して各会場を巡り、フラワー長井線まつりをお楽しみください。



- 主会場 宮内駅、長井駅、荒砥駅
 - 内容
 - ・地元小学生や高校生による吹奏楽演奏
 - ・郷土芸能披露
 - ・子どもたちに大人気のモーターカー(軌道作業車)
 - ・レールスター(軌道自転車)の試乗
- ほかにも各種売店が出展予定で、多彩なイベントが目白押しです。※各会場のイベント内容は異なります。



らぶ駅長が会いに来てくれるよ！

会津鉄道 芦ノ牧温泉駅 猫のらぶ駅長が、宮内駅 もっちい駅長に会いにやってきます！

☎ 総務課連携支援室 0238-26-6019

福島第一原発事故による避難指示区域以外から避難している方への住宅無償提供が、福島県から来年3月末で終了することが示されたことに対して、多くの方々が避難している置賜地域において、8月28日に米沢市内で「住宅支援の延長を求める会」が発足しました。発足式には約100人の避難者及び支援者が出席し、今後、福島県知事に面会を求めていく方針等が示されました。



山形・新潟・福島3県知事会議

これに先立ち8月25日に開催された「山形・新潟・福島3県「住宅支援の延長を求める会」発足式知事会議」では、吉村知事が内堀福島県知事に、住宅支援の更なる充実に配慮いただきたい旨を伝え、避難者支援で3県知事が連携していくことを確認しました。8月29日には、吉村知事から本県として県職員公舎の避難者への無償提供を検討する方針が示されました。

8月1日、2日の2日間にわたり子ども知事室が県庁で開催され、置賜地域から各日4人、計8人の小学5、6年生が参加しました。子ども知事室は、山形の未来を担う子ども達が、吉村知事と直接話をする機会を持ち、「一日知事」を体験することによって、県の仕事に関心を持ってもらうとともに、「ふるさと山形」に対する理解を深めることを目的としています。



8月2日(火)

吉村知事から一日知事の辞令の交付を受けた子ども知事は、県庁や県の施設の見学、吉村知事との懇談を行いました。つや姫ご飯の弁当を食べながらの知事との懇談では、「県が取り組んでいること」「今後の山形県について」など様々な質問が出され、吉村知事が一つ一つ丁寧に答えると、熱心にメモを取っていました。午後は県の試験研究機関を見学し終了となりました。一日だけでしたが、県政や県の事業に親しむ良い機会となりました。



8月1日(月)

ルネサスセミコンダクタパッケージ&テストソリューションズ株式会社米沢工場(米沢市大字花沢)では、アルミ缶プルタブを集めて車椅子を寄贈する慈善活動を行っており、これまでも病院や市役所などの公共機関に車椅子を寄贈しています。

このたび、置賜総合支庁へ寄贈の申し出をいただき、8月9日に武田一夫支庁長が米沢工場長の小田浩生氏から車いすを受領しました。置賜総合支庁では、パスポート申請をはじめとした様々な行政手続き等で車いすを必要とする方も来庁されることから、1階ロビーに車いすを配置し有効に活用させていただきます。



山形県では県民の河川・海岸愛護意識を高めるため、昭和52年度から「きれいな川で住みよいふるさと運動」を行っており、その一環として平成18年度から河川学習用物品を小学校へ贈呈しています。

今年度置賜管内では、高島町立亀岡小学校と、小国町立小国小学校の2校が選ばれ、贈呈式が9月12日(亀岡小)、9月14日(小国小)に行われました。贈呈式では、物品を受け取った児童や校長先生から感謝の言葉をいただきました。

今後それぞれの小学校では、物品を使っての水中観察や水質調査を予定していますが、その中で河川・海岸愛護意識が高まることを期待しています。



アルコール依存症は回復できる病気です

この人に聞く

楠 慶一

公益社団法人 全日本断酒連盟 理事 / 東北ブロック長



みなさんは、「アルコール依存症」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか。毎日昼夜を問わず酒を飲み、酔って暴れる、意志が弱くて酒をやめられない中年の男性といったところでしょうか。

アルコール依存症は長い間飲み過ぎを続けると誰でもなる可能性があります。放置すると死に至る深刻な病で、早期発見・治療、適切な支援が重要です。いったん依存症になると自分で飲酒量をコントロールできなくなり、2度と適量飲める身体には戻れません。しかし、酒を断れば回復し生きていくことができます。

最近では女性や若者、高齢者の依存症者も増え、平成26年に厚生労働省研究班が発表した全国のアルコール依存症者数は推定109万人、予備軍を含む人数は294万人に上ります。そのうち治療中は8万人にとどまり、治療が必要なのに受けていない人が多いことも分かっています。残念ながら、アルコール依存症についての正しい認識が広まっているとは言えないからでしょう。

気軽にアルコールを飲める社会環境に加えて、自立の葛藤や配偶者の死、定年退職などが依存症の引き金になる人もいます。私の場合は、10代半ばに親や周囲の期待を重荷に感じ、焦燥感から睡眠薬を多量摂取したのがきっかけでした。次いで、酒につかの間の安らぎを求め、最初は2合で済んだものが次第に量が増えて、27～8歳頃には泥酔しては問題を起こすようになっていました。

同じ頃から、酒が原因の身体の不調で内科に入退院を繰り返し、その後、30代で精神科に入院するという依存症に多く見られる経過を辿ることになります。仕事や友人をなくし、家庭も壊しました。依存症になると、大切

な人たちとの人間関係も壊してしまいます。それでも、「このままではいけない」と相談場所を探したときに、運よく断酒会につながり、1日1日と断酒を積み重ねて20数年が経ちました。

断酒会はアルコール依存から回復しようとする人たちの自助組織です。定期的に開く例会で、自らの体験や不安、悩みを包み隠さず話し、仲間の体験を聞きます。同じ境遇の人の話を聞くことで、自分の問題点を客観的に見つめ直し、回復した人の姿に勇気づけられて、自らの回復への道筋を見出すことができます。

また、断酒会は依存症に苦しむ本人や家族の相談に応じる他、これから社会に出る若者に飲酒のリスクを伝えるため、中学や高校で体験談を話したり、医療機関や行政と連携した取組みなども行っています。

現在、私は生き方そのものを「酒を飲まなくてもいい生き方」に変え、断酒会の活動を通じて出会った方たちとの良い人間関係に安らぎや平穏を感じています。

今年5月には念願であった「アルコール健康障害対策推進基本計画」が策定されたこともあり、今後はさらに活動の幅を広げていけたらと考えています。生きる喜びを一人でも多くの人と分かち合うために。



保健だより

節度ある適度な飲酒を！



お酒は、伝統や文化とも関係が深く、適量の飲酒は生活を豊かにするものの一つです。しかし、不適切な飲酒はアルコールによる健康障害の原因となり、個人の健康問題だけでなく、その家族や周囲にも深刻な影響を与え、重大な社会問題を生じさせる危険性があります。

日本人に『節度ある適度な飲酒』の量は、
純アルコールで約20g



日本酒(15%)
1合
180ml



ビール
缶ビール1本
500ml

お酒と上手に付き合うためのポイント

- 1 楽しく、つまみを食べながら飲む
- 2 強い酒は薄めて飲む
- 3 夜12時以降は飲まない
- 4 週に2日は休肝日を作る

飲みすぎていませんか？

アルコール依存症チェック

- 飲酒を減らさなければいけないと思ったことがある
- 飲酒を批判されて、腹が立ったりいら立ったことがある
- 飲酒に後ろめたい気持ちや罪悪感を持ったことがある
- 朝酒や迎え酒を飲んだことがある

→ 2項目以上該当する方はアルコール依存症かもしれません。

アルコール依存症は家族、仕事よりも飲酒を優先させる病気です
飲酒問題でお悩みの方は、地域保健予防課にご相談ください。

●ご相談、お問い合わせは・・・地域保健予防課 0238-22-3015



避難誘導の様子

近年増加傾向にある土砂災害から身を守るために、7月28日特別養護老人ホーム「万世園」において、学習会と避難訓練を実施しました。

はじめに行われた学習会では、土砂災害の種類や前兆現象等について施設職員の皆様に理解を深めていただき、続いて、米沢市内に土砂災害警戒情報が発令され、施設の近隣で土石流やがけ崩れが発生したことを想定した、防災情報の収集、情報伝達、避難準備、避難誘導の訓練に施設職員7名、施設利用者10名、計17名が臨みました。

緊迫感のある中で、安全に施設利用者を一次避難先となる栄光園に避難誘導し、その後二次避難先の回春堂に避難して訓練は終了しました。

これらの訓練を通じて、土砂災害警戒時の対応、職員間の関係や関連施設とのつながりを確認するよい機会となり、いざという時の心の備えができた訓練でした。



対策本部の様子

事業報告 廃棄物適正処理・3Rのポスター及び川柳受賞者決定！

置賜総合支庁では「廃棄物適正処理・3R(リユース・リデュース・リサイクル)の普及啓発ポスター及び川柳コンクール」を開催しています。

山形の美しい自然を守るためには、私たち一人ひとりの心がけが大切です。子どもたちの視点による、ポスター・川柳を募集することにより、理解と関心を深めてもらうきっかけとし、また、子どもたちのメッセージを広く社会に投げかけ、廃棄物の適正処理・3Rの普及啓発を図っています。

今年は小学生からポスター69作品、川柳43作品、中学生からポスター142作品、川柳101作品の応募があり、審査の結果、入選作品25点が決定しました。作品は庁舎ロビーや商業施設等で展示するほか、不法投棄防止の看板等に活用されます。多数の応募ありがとうございました！

ポスター部門最優秀作品

小学生の部



長井市立致芳小学校 6年 渡部寛大

中学生の部



米沢市立第四中学校 3年 片平百花

米沢市立第一中学校
二年 金子恰平



中学生の部

米沢市立愛宕小学校
五年 島貫柊奈



小学生の部

川柳部門最優秀作品

健康コラム 山田保健所長のたばこのお話No.3 喫煙防止教育のポイントは？ 保健企画課 0238-22-3004

あっという間に季節は秋。今回でこのコラムは終了になりますので、最後に喫煙対策の3つ目の柱「喫煙防止教育」について、私自身の経験を踏まえ、お伝えしたいと思います。

前回、喫煙行動＝依存症ということをご紹介しましたが、その治療には専門家の支援が必要になるなど、結構大変な部分があります。だとすると、何よりも大切なのは「最初の1本に手を出させないこと…」なのです。

私は今まで20年近く、小学校3年生から大学生までの喫煙防止教育を数えきれないくらい担当させていただきました。実は喫煙防止教育は、小中学校の学習指導要領に盛り込まれています。が、「成人式に招かれたら、教え子がプカプカ吸っていて愕然とした」ということは何故起きてしまうのでしょうか？恐らくですが、学校教育では喫煙と健康影響を主に伝えているからではないか？とい

うのが、私の答えです。何故なら、それは何十年もあとにやって来るから…想像しにくいですよね。それよりも、芸能人やマンガ・映画での喫煙シーンのカッコよさにつられて、女性ならダイエットのために手にした、という理由をよく聞きます。だから私は、喫煙と美容のこと(シワが増える、歯が抜ける、色黒になる)などを必ず話すようにしています。

もう一つ、最近の子供たちはゲームや携帯に使うお金を優先し、たばこに手を出さなくなったという調査報告があります。未成年の喫煙防止のために、一刻も早く、たばこ代を欧米のレベルの1,000円近くまで値上げして欲しいものですね。



イベント情報

置賜総合支庁では、農業者が直接、新鮮野菜や果物、自慢の漬物やお菓子等の加工品、花などの直接販売を行う朝市及び直売会を開催しています。



山形おきたま産直市

- 日時: 10月1日(土)、11月5日(土)
午前8時～9時
- 場所: 本庁舎(米沢市金池) 玄関前広場
- 主催: 「東南置賜直売ネットワーク」
(農産物直売組織8組織で構成)
- イベント: 季節の漬物とご飯の振る舞い、スタンプラリー
※10月はスタンプ2倍セール。
※11月5日は今年最後の朝市です。
スタンプラリーはいよいよ抽選会。空クジなし!

おしょうしな市「収穫感謝の市」

毎月第2・4木曜日昼に開催中の「おしょうしな市」では、収穫の秋と日頃のご愛顧に感謝して「収穫感謝の市」を開催します。

- 日時: 11月24日(木) 正午～午後1時
- 場所: 本庁舎(米沢市金池)1階ロビー
- 主催: 「おしょうしな市の会」(農業者17名で構成)
※東南置賜直売ネットワークも参加します!
- イベント: 感謝の気持ちを込めて、「玉こんにやく」の振舞いを行います!

㊟農業技術普及課 0238-57-3411

「第3回おきたま地酒サミット」を開催します

置賜の酒蔵が大集合! 蔵元との会話を楽しみながら、各蔵一押しのおきたま地酒を飲み比べできます。うまい地酒と地元食材を使ったオリジナル料理をお楽しみください。

- 日時: 11月20日(日) 14:40～17:00
※13:50～14:30 利酒大会
- 会場: グランドホクヨウ(米沢市)
- チケット: 3,500円(前売り制)
※販売場所は下記までお問い合わせください。
- 内容
 - (1) 利酒大会 13:50～14:30
本格的なルールに基づく利酒大会(事前申込制 60名)
 - (2) 冬のあった回廊キャンペーンオープニングセレモニー 14:40～15:00
愛の武将隊による演武、温泉地による観光PR等
 - (3) おきたま地酒サミット 15:00～17:00
美味しい地酒と旬の食材を使った料理をお楽しみください



◆地酒試飲ブース

蔵元との会話を楽しみながら、各蔵お勧めの地酒を試飲

◆地元食材試食ブース

置賜の旬の食材を使用したオリジナル料理の提供

◆販売ブース

会場を提供する地酒の販売

- 主催
おきたま食のモデル地域実行協議会、置賜農業振興協議会、山形おきたま観光協議会、置賜地区の各酒造協議会・各酒販組合、山形おきたま農業協同組合
㊟おきたま食のモデル地域実行協議会 0238-57-4793

お知らせ

がん検診・がん予防について

10月は、がん検診受診率50%超を目標にした集中キャンペーン月間です

～日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています～



- がんは死因の第1位であり、置賜地域では毎年約800人の方ががんで亡くなっています。
- がんは「早期発見・早期治療」で克服できる病気であり、そのためには定期的ながん検診を受診することが大切です。
- 置賜地域のがん検診の受診率は25～35%前後であり、他の地域と比べて低い状況です。
- あなた自身とあなたの大切な人のため、定期的ながん検診を受けましょう。

がん予防のポイント

～がんは予防することができます～

- ◆禁煙
- ◆バランスの良い食事
- ◆定期的な運動
- ◆太りすぎ、やせ過ぎに注意
- ◆がんを引き起こすウイルスへの感染を予防

がん検診の申し込み・お問い合わせは、お住まいの市町窓口または職場の健康管理担当まで

㊟保健企画課 0238-22-3004

「毒きのこ」食中毒に注意!

県内では過去5年間で34件のきのこ食中毒が発生しており、特にこの時期は注意をお願いします。

種類別で食中毒が多いのは「ツキヨタケ」ですが、ツキヨタケは、縦に割ると、キノコの軸の部分に黒いシミがみられますので、このようなキノコは絶対に食べないでください。なお、小さいものなどでは黒いシミが見られない場合もありますので、形状でもしっかりと確認をお願いします。

毒キノコには一般的な見分け方はないため、その種類ごとの特徴をしっかりと覚えることが必要です。

また、キノコは、小さかったり、はえている様子などが分からなかったりすると、採取後では見分けがつかない場合もありますので、現場で見分けのつかないものは、

「採らない」、「食べない」、「おすそわけしない」ようにしてください。

手で縦に割り裂くと、キノコの根元に黒いシミがあります。小さいものではない場合もあるので、いくつかが割って確認してください。



ツキヨタケ(断面)

㊟生活衛生課 食品衛生担当 0238-22-3740

伝国の杜 置賜文化ホールの催事情報

平成28年度 置賜文化ホール自主事業

古典の日特別企画

能楽囃子 (のうがくはやし) コンサート ～音から触れる能の世界～

金剛流をはじめとする能楽の盛んな米沢で、能楽器を担当する囃子方による能の中の音楽を演奏するコンサートを開催し、「早舞」「早笛」など演出によって雰囲気が変わる、音楽の魅力を紹介し、初めの方でも楽しめるように音楽の中で上演される能舞も披露。音楽と舞から能のおもしろさを伝えます。



休憩中は実際に能の楽器に触れることができる体験コーナーを開催。出演者による解説もついています。

11月1日は『古典の日』。「音楽」から能の世界を体感してみませんか？

- 日 時: 11月1日(火) 17:30開場 18:00開演
- 会 場: 伝国の杜 エントランス能舞台(定員150名)
- 料 金: 全席自由 前売500円(当日800円)
- チケットの取扱い: 伝国の杜
- その他: 5歳から入場可
託児サービス(事前申し込み・1人1,000円)

置賜子ども芸術祭2016

舞台芸術部門

置賜各地で伝統芸能などの文化活動に取り組んでいる子どもたちが一堂に会し、日ごろの練習の成果を披露します。舞台上での、子どもたちの一生懸命な姿をぜひご覧ください。



- 日 時: 11月5日(土)
13:00開場 13:30開演
- 会 場: 置賜文化ホール
- 料 金: 無料(どなたでもご自由に入場いただけます。)
- 出演団体:

- 【米沢市】伝国の杜子ども狂言クラブ(狂言・小舞)
 - 【長井市】長井市立長井小学校(長井黒獅子舞)
 - 【南陽市】KAYOKOバレエスタジオ(ダンス)
 - 【高島町】平岳謙詩吟教場(詩吟)
 - 【川西町】ラダリア(歌と踊り)
 - 【白鷹町】鮎貝七五三獅子舞獅子連(鮎貝七五三獅子舞獅子舞)
 - 【飯豊町】飯豊町少年少女合唱団ミルクィウェイ(合唱)
- 主 催: 置賜文化フォーラム

伝国の杜 置賜文化ホール

住所: 米沢市丸の内1-2-1 TEL: 0238-26-2666

平成28年度 置賜文化ホール自主事業

置賜文化ホール開館15周年コンサート カナディアン・ブラス

世界で一番有名な金管アンサンブルが米沢にやってくる!



金管アンサンブルの世界的パイオニアであり、40年以上にわたり世界中を魅了し続けてきたカナディアン・ブラスの米沢公演。由緒正しいバロック音楽をはじめとするクラシックから、近現代音楽、さらにはポップスに至るまで幅広いレパートリーの音楽を、金管五重奏の音色に乗せてお届けします。

由緒正しいバロック音楽をはじめとするクラシックから、近現代音楽、さらにはポップスに至るまで幅広いレパートリーの音楽を、金管五重奏の音色に乗せてお届けします。

- 日 時: 11月15日(火) 18:00開場 18:30開演
- 会 場: 置賜文化ホール
- 料 金: 全席指定 前売4,000円(学生1,500円)
(当日は各500円増)
- チケットの取扱い: 伝国の杜、大沼米沢店、こまつ書店堀川町店、米沢楽器店、音楽アズム館米沢店
- その他: 未就学児は入場不可
託児サービス(事前申し込み・1人1,000円)

◎総務課連携支援室 0238-26-6019

犬猫を飼いたい方向け譲渡前講習会のご案内

この講習会は、置賜保健所が保護・引取り等した犬や猫を、新しい飼い主さんに譲渡する前に受けていただくものです。譲り受けを希望しない方でも受講できますので、関心のある方は、ぜひ受講してください。

- 日 時: 10月20日(木/毎月第3木曜日)
15:30~(約1時間)
- 場 所: 置賜保健所 講堂
(米沢市金池三丁目1-26)

※ 事前に電話でお申し込みください。

◎生活衛生課 0238-22-3750



～雇用のトラブル、まず相談～ 労働相談会の開催

解雇、賃金引下げなど、労使間のトラブルでお悩みの方のために、県内2か所で労働相談会を開催します。労働委員会委員が問題解決に向けてアドバイスします。(相談無料・秘密厳守)

まず相談!

リストラ 残業代不払い



- 日 時: 10月16日(日) 10:00~15:00
 - 会 場: 県庁、鶴岡市勤労者会館
 - 対象者: 県内事業所に勤務している労働者、事業主の方など
- ※ 電話による予約を受け付けています。当日の受付も可能です。(事前予約の方が優先です)

◎労働委員会事務局 023-630-2793

発行元

置賜総合支庁 総務企画部
総務課 総務係

TEL 0238(26)6004
FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

南陽市宮内にある産地研究室では、野菜と花に関する新しい栽培技術の開発に取り組んでいます。野菜では、アスパラガス、えだまめ、しょうが等の産地支援のため、高品質・安定生産技術の開発を行っています。花では、ダリアの品質保持技術の開発や、アルストロメリア、リンドウ、ストック等の地域に適する栽培方法の検討を行っています。置賜地域の気候をうまく活用して、野菜と花の高品質生産とブランド化を図り、農業の発展につながる技術開発を目指しています。(農業技術普及産地研究室)



ダリアの長期出荷を可能にしたハウス抑制栽培技術